

No.・区分	10807	ハード部門(土木・建築・共通)
タイトル	索道設置における吊荷直下の立入禁止措置	
動機・改善前の状況	索道の横行範囲の延長は150mと広く、看板で明示していても作業に集中するあまり吊荷に対する警戒心が薄れ、頭上を通過する索道の吊荷に気付かない事があり危険だった。	
改善・実施事項	作業員が通過する小段通路に、鉄製のピンとトラロープ、プラスチックチェーンで立入禁止区域を作り、通路部をチェーンで簡易に取り外しができるようにし、チェーンをはずさないで物理的に通過出来ない様にした。	
改善効果	小段上の作業員の通過する可能性のある全小段通路に立入禁止区域が出来たことで、作業員の吊荷に対する警戒心を向上させる事ができ、また索道のオペレーターも立入禁止区域及び吊荷の下降範囲が視覚的に判断でき、安心して作業に専念できるようになった。	
活動内容 改善事項の図、 写真		

Good Practice!